

皮膚科専攻医カリキュラム

1. 皮膚科基本疾患、救急疾患の診断治療ができる。

2. 研修スケジュール

1 年	皮膚科病棟及び外来
2 年	〃
3 年	2年終了後他病院へ

3. 当科は東三河の中核病院として皮膚がんを中心とした重症疾患の治療を行っている。

4. 研修態勢

1) 日本皮膚科学会教育指定病院

2) 研修カリキュラム

日本皮膚科学会「皮膚科専門医カリキュラム」に準拠。

3) 取得可能な認定医及び取得可能な時期

日本皮膚科学会専門医、5年間を要す。

4) スタッフ体制

部長 1 名、医長 1 名、専攻医 2 名

5) 症例検討会等のスケジュール

皮膚科カンファレンス 金曜午後

6) 主な参加学会

日本皮膚科学会、皮膚悪性腫瘍学会、皮膚外科学会、熱傷学会、がん治療学会

7) 定期的に参加する研究会

東三河皮膚科症例検討会 年 4 回

5. 主な経験目標

1) 診察法、検査、手技

(1) 診察法

触診、指診、画像診断、皮膚病理診断

(2) 検査法

糸状菌鏡検、光線過敏症性検査、薬疹の原因診断法（DLST、プリックテスト、スクラッチテスト、皮内テスト、貼布試験、誘発試験など）、皮膚生検（punch biopsy）の習熟、皮膚感染症の診断法（各種培養、DNA 診断など）

(3) 基本手技

軟膏処置、挿管、IVH、人工呼吸器、局所麻酔、脊椎麻酔、

(4) 基本的治療法

皮膚科小手術：良性小腫瘍摘出術、電気焼灼術、冷凍凝固術、皮膚生検（特殊部位、メスプローベ）、簡単な皮弁作成術・植皮術および悪性腫瘍摘出術の助手（～執刀）

P U V A 療法

2) 経験すべき症状・病態・疾患

(1) 症状、病態

皮膚に何らかの症状を有するもの

(2) 疾患

皮膚がん、皮膚良性腫瘍、熱傷、じょくそう、感染症、その他の皮膚疾患

3) 学会発表、論文

地方会以上に年 2 回以上発表する。

年 1 編以上の論文の掲載。